三菱ガス化学

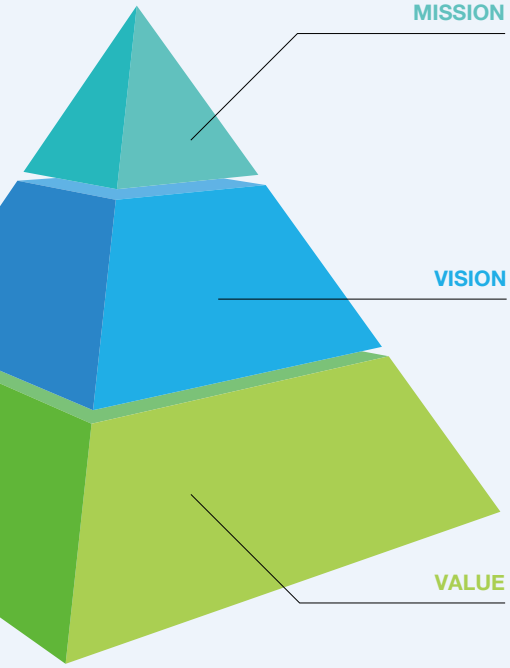
Uniqueness & Presence

MGC REPORT 2026　統合報告書

MGC Way

理念体系「MGC Way」

私たちは、独創的な素材や技術で社会の変革に貢献する、研究開発型の化学メーカーです。私たちの社会的使命（ミッション）は「社会と分かち合える価値の創造」であり、これは私たちが存在する理由でもあります。この「ミッション」の実現に向けて「バリュー（行動理念）」を体現し、「ビジョン」に掲げた特色と存在感を発揮することで、世の中から選ばれ続けるエクセレントな企業グループを目指しています。



社会と分かち合える価値の創造

最先端の電子デバイスや通信システム、石油代替エネルギー、高度医療、食料管理など、SDGs（持続可能な開発目標）達成の鍵を握るこれらの産業には、「素材」の進化、「材料」の技術が不可欠です。私たちはミッション「社会と分かち合える価値の創造」の下、化学素材や材料の面から、産業・社会のイノベーションに深く関与し、社会変革を促す新素材や材料、及び技術を追求し続けます。

化学にもとづく、特色と存在感あるエクセレントカンパニー

化学産業は、人々の暮らしや環境保全、社会インフラなどの分野で、無限の可能性を秘めています。社会の変化が加速する現代において、当社グループは「特色（Uniqueness）」と「存在感（Presence）」を発揮し、ビジョンに掲げる未来のありたい姿に向けて、自らの姿を能動的に変化させながら、持続的な成長を追求していきます。

当社グループの多様な事業を支える「技術基盤」「企業風土」「パートナーシップ」「安全文化」といった経営資源を活かしながら、「バリュー（行動理念）」の実践により、変化の先を見据えた新たな価値創造に挑戦していきます。

行動理念

プロフェッショナル集団として

プロフェッショナルとは、信頼できる高い知識と能力、強い責任感の持ち主のこと。
一人ひとりが頼りになるプロフェッショナル集団をめざします。

1. **変化を恐れぬ勇気：**現状に甘んずることなく、新しいことに挑戦し、習慣を打ち破る勇気を持とう。周囲の変化に応じて自分を変えるだけでなく、より良い状態に向けて、自らが環境を変えるほどの強い勇気を持とう。
2. **高い目標への挑戦：**常に自分自身により高い目標を課し、その目標に挑戦する意欲を持とう。
3. **目標達成への執念：**掲げた目標を達成し、成果を上げるまでは強い執念で何がなんでもやり抜こう。
4. **共感を拡げるコミュニケーション：**互いに信頼し目的を分かち合い、ともに協力するために、コミュニケーションの輪を拡げよう。

MGC企業行動指針

サステナビリティ推進指針

Contents

目次

01 イントロダクション

MGCが何を目指し、どういったことをしている企業なのか知りたい

3 社長メッセージ
7 MGCの源流
9 事業展開と主な製品
11 MGCが提供する社会的価値

02 価値創造セクション

MGCの価値創造を支える仕組みや競争優位、それらを通じて
創出している価値について知りたい

13 価値創造プロセス
15 MGCらしさを支える経営資源
17 MGCらしさの源泉
21 選択と集中による改革の歴史
23 事業ポートフォリオ強靭化の加速
25 ありたい姿の実現に向けて

03 経営戦略セクション

持続的な成長を実現するために、どのような計画を立て、
どのように戦略を遂行しているのか知りたい

33 中期経営計画の進捗
35 事業投資
36 中期経営計画
「Grow UP 2026」
39 マテリアリティの進捗
41 財務戦略(CFOメッセージ)
44 株式市場との対話
45 機能化学品事業戦略
48 グリーン・エネルギー&
ケミカル事業戦略
51 環境への取り組み
54 社会への取り組み
55 DXの推進
57 研究開発
63 人材戦略
69 生産技術・環境安全・品質保証

04 ガバナンスセクション

持続的な企業価値向上を支えるガバナンス体制について知りたい

72 役員一覧
75 社外取締役座談会
79 コーポレート・ガバナンス
83 リスクマネジメント
84 コンプライアンス

05 データセクション

定量データや基本的な会社情報について知りたい

85 パフォーマンスデータ
89 会社情報

編集方針
『MGCレポート 2026』は、「Uniqueness & Presence」を軸に持続的な成長を目指す、MGCの価値創造ストーリーの解説に重点を置いています。本レポートの制作においては、CSR・IR部を中心に、情報を集約・共有化する全社的な体制を構築しており、様々なステークホルダーの皆様に、当社グループへの理解を深めていただけるよう、掲載内容の充実に努めています。

参考にしたガイドライン
- 国際統合報告評議会(IIRC)「Integrated Reporting〈IR〉」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」
- GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・レポーティング・スタンダード」
- TCFD(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)提言
- TNFD(Task force on Nature-related Financial Disclosures)提言
- SASB(Sustainability Accounting Standards Board)スタンダード

報告期間
2025年4月1日～2026年3月31日(2025年度)
※ 一部、過去及び直近のデータを記載

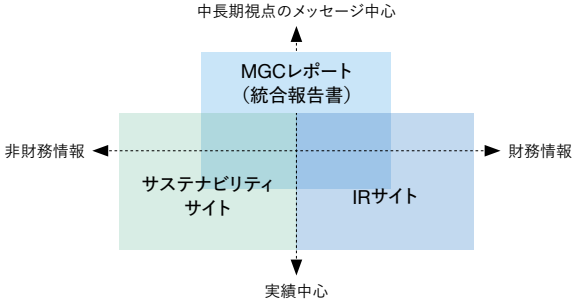
報告範囲
三菱ガス化学株式会社及び三菱ガス化学グループ
※ 報告範囲が異なる場合は対象範囲を各データに記載

発行責任者
取締役 専務執行役員 北川 元康(CSR・IR担当)

発行
2026年8月

免責事項
本レポートに記載されている計画、目標などの将来に関する記述は、当連結会計年度末現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて判断したものであり、不確実性を内包するものです。実際の業績などは、様々な要因によりこうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。

情報開示体系



IRサイト
投資家情報 | 三菱ガス化学株式会社
・有価証券報告書　・決算短信
・中期経営計画資料　・説明会関連資料

サステナビリティサイト
サステナビリティ | 三菱ガス化学株式会社
・サステナビリティデータブック
・コーポレートガバナンス報告書

より幅広い情報はWebサイトをご参照ください